

カレードマン大胆不敵 (1966)

KALEIDOSCOPE

メディア 映画

ジャンル アクション

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 102分

初公開日 1966/12/24

公開情報 WB

【解説】

J・スマイトが最も脂の乗り切っていた時分の、楽しい都会派アクション。素敵なオープン・カーに乗ったバーニー（ビーティ）は、町で渋滞を引き起こすエンスト車に颯爽と対処する通りすがりの娘（ヨーク）に一目惚れし、その名前“エンジェル”を聞き出し、一発で彼女の気に入るデート・コースを設定し（それがパブでソーセージにビールと、ごく庶民的なもので嬉しくなる）すっかり親密に。ところが、彼女はスコットランド・ヤードの敏腕警部マッグニスの娘で、バーニーはと言うと、トランプの名門カレイドスコープ社の工場に潜入し、自分にだけ判る印を原盤に入れ、世界中のカジノで大儲けをする冒険青年。しかし、彼の悪事はすっかり警部に筒抜けで、その赦免を条件に、彼は、警部が追い続けてきた、戦時中の麻薬闇取引で一財を成したギャングの息の根を止めるべく、その秘密カジノに送り込まれる。バーニーが“ルパン三世”よろしく、黒づくめで工場に忍び込む姿も粋なら、敵ボスとの勝負でカレイド印のでないカードを出され、それでも100万ポンドを張る大勝負もスリルたっぷり。C・レヴィル扮する警部もどことなく銭形警部似の愛嬌のある人物で、彼と部下のやりとりも大変愉快（バーニーが命懸けの本番の最中に、自分たちもカード遊びに燃えている）。ボスがナポレオン信奉者で彼そっくりの恰好をしているのも笑わせる。山場のボスの邸内でのアクションはちょっとニューシネマ的に斬新な所もあり、この快作に既に気持ちよい後味をもたらしてくれるのだった。場面転換の処理なども鮮やか。

【クレジット】

監督	ジャック・スマイト	Jack Smight
製作	エリオット・カストナー	Elliott Kastner
原作	マイケル・アバロン	
脚本	ロバート・キャリントン	Robert Carrington
	ジェーン＝ハワード・カリントン	
撮影	クリストファー・チャリス	Christopher Challis
音楽	スタンリー・マイヤーズ	Stanley Myers
出演	ウォーレン・ベイティ	Warren Beatty
	スザンナ・ヨーク	Susannah York
	マレイ・メルビン	
	エリック・ポーター	Eric Porter
	クライヴ・レヴィル	Clive Revill
	ジェーン・バーキン	Jane Birkin